

大学入学共通テスト について

大阪星光学院中学校・高等学校 石原 健志

英語（リーディング）

 第一学習社

① 「共通テスト」について

■大学入学共通テスト英語（リーディング）は旧センター試験，試行調査とどう変わったのか

- ・共通テストリーディングではリード文や設問も含んだ総語数が約 5,500 語 でした。これは，旧センター試験（約 4,200 語）より 1,300 語程度増加していますが，試行調査（約 5,400 語） とほぼ同じだといえます。
- ・試行調査に準じる形で，発音・アクセント，適語選択，整序問題などの出題はありませんでした。
- ・平成 29 年度試行調査第 2 問 A の レストランのレビューや，平成 30 年度試行調査第 2 問 A の レシピなどの形式の出題はなく，共通テストの第 2 問 A はバンドコンテストの採点表と審査員のコメントに関するもので，過去の試行調査と異なると感じた受験生もいたようです。

■スキニングの力（要点を把握する力）が問われる！

- ・設問が問う箇所を本文の中ですばやく見つけ出す力が問われています。これには「スキニング」という特定の情報や要点をすばやく見つけ出す手段が有効です。

■「思考力・判断力・表現力」を使った複合的な情報処理能力が大切！

- ・参照すべき情報源が本文以外にも表やグラフなど多岐にわたりました。また，試行調査で問われたような「事実 (fact)」であるか，「意見 (opinion)」であるかを見分ける問題など，思考力・判断力を要する設問が見られました。
- ・さらに，本文の内容にもとづいて，表やプレゼンテーションのスライドを完成させるなど，間接的に表現力を問う設問も出題されました。
- ・これらに対応するには，出来事を時系列順に整理するなど，読み取った情報を正しく処理する複合的な能力が必須になるでしょう。

② リーディングの「共通テスト」出題傾向と対策

■「スキミング」の練習が必須。短時間で必要な情報を読み取るトレーニングを！

- ・スキミング問題かどうかを見分けるポイントは5W1Hの設問かどうかです。What, Who, Where, When, Which, How で始まる設問の多くはスキミングを活用することですばやく解くことができます。
- ・スキミングを実際に活用するためには、問題文と選択肢の先読みが必須です。「何が問われているか」を意識して本文を読むことがすばやく正確に答えを見つけるカギとなるでしょう。

■「事実 (fact)」と「意見 (opinion)」を見分ける設問は思考力・判断力が問われる！

- ・「事実 (fact)」と「意見 (opinion)」を見分ける設問は、共通テスト特有の問題といえます。自宅学習ではそれに対応した問題集などを使い、類題を数多くこなすことが大切でしょう。
- ・たとえば、第2問Bの問4は「事実 (fact)」をたずねる問題ですが、主観的な評価（「重要だ」、「しなければならない」「必要だ」）は「意見 (opinion)」であるということが理解できていれば、選択肢だけを見てもある程度答えの予測がつきます。
- ・ある情報が「主観的」か「客観的」かを判断するためには、自分が読む英文がどのような情報を伝達しているかを常に意識する「思考力・判断力」が大切です。

■コーパスデータから見る！ 従来型の「文法学習」は必要ないか？

- ・小問単位で文法問題がなくなったからといって文法指導が不要というわけではありません。
- ・共通テストをコーパス分析ソフトでコンコーダンス分析をおこなったところ、関係代名詞（制限用法、非制限用法）、関係副詞、使役動詞、現在完了形および現在完了進行形などといった重要な文法事項が頻繁に現れています。
- ・加えて、第2問Aの問5（比較）、第3問Bの問1（過去完了形）など、文法事項の理解を問う問題も出題されているため、文法・語法の理解は引き続き重要だと考えられます。
- ・これらをふまえれば、高校1年生から高校2年生の間に、文法学習もしっかりとやっておくほうがよいでしょう。

■プレゼンテーションのスライドやウェブサイト、メッセージの交換といった現代的な話題も！

- ・共通テストでは携帯電話のメッセージやメールのやり取り、プレゼンテーションのスライドなど、現代の私たちの生活に身近なシチュエーションを想定した出題がされています。日頃からこのような状況に触れられるように、日々の授業や家庭学習でさまざまな英文に触れていきましょう。
- ・このような状況はインターネットやICT機器の発展とともに増えています。今後はオンライン授業など、新たなシチュエーションの出題も予想されます。

3 リーディングの問題構成

	テキストタイプ	語数	Readability	設問数
第 1 問 A	携帯電話のメッセージ	141 words	2.8	全 2 問
第 1 問 B	バンドのファンクラブの案内	242 words	5.4	全 3 問
第 2 問 A	文化祭のバンドコンテストの採点表と審査員のコメント	216 words	5.1	全 5 問
第 2 問 B	校則に関する生徒と教員のオンライン掲示板でのやり取り	264 words	7.5	全 5 問
第 3 問 A	ホテルに関する Q&A とアクセスの図	249 words	6.9	全 2 問
第 3 問 B	ボランティアを募るニュースレター	307 words	6.0	全 3 問
第 4 問	E メール, 電車の時刻表, 施設の混雑度を表すグラフ	479 words	6.9	全 5 問
第 5 問	実在した牛と農夫に関する国際ニュース	658 words	6.3	全 5 問
第 6 問 A	アイスホッケーに関する安全性の記事	616 words	9.1	全 4 問
第 6 問 B	人工甘味料に関する説明文	529 words	10.5	全 4 問
合計		3,701 words	7.6	

※語数はリード文, 設問文含まず。

4 リーディングの設問別問題分析

第 1 問 A

【テキストタイプ】メッセージ
【Readability】2.8

【語数】141 words

梗概：ルームメイト同士の携帯電話でのメッセージのやり取り。

◆問われる知識・技能◆

双方向のやり取りなので、それぞれの発信は相手の発信内容を受けたやり取りであることに注意する。

問 1：設問文の Julie's request に注目する。Julie が your mobile phone に送ってきた最初のメッセージから Julie の要求をスキミングで探す。Can you bring my USB to the library? という記述から選択肢① To bring her USB memory stick が正解だとわかる。

問 2：Julie の 2 回目のメッセージに返信するには、その内容を理解する必要がある。Julie は、探していた USB は結局、彼女のカバンの中にあったことを伝え、お礼を言っている。

■学習させたい語彙・文法・表現◆

<本文> dormitory 「寮」 forget to ～「～するのを忘れる」：to-不定詞はこれからおこなうことを表す。 on top of ... 「…の上に」：…に接触して「上に」を表す。 a laptop computer 「ノートパソコン」 at the bottom of ... 「…の底に」

<設問> hand in ... 「…を提出する」 be glad to ～「～してうれしい」 be disappointed 「がっかりする」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

携帯電話のメッセージのやり取りの文脈を読み取る力が求められている。問 2 は、Julie が送ってきた最後のメッセージに対する返信を答えるために、2 人のやり取りの流れを正確に把握する力と、それに自分が返信する表現力が求められている。

問 1：本文の Can you bring my USB to the library? が設問の Julie's request にあたるという判断ができるかがこの設問に答えるカギとなる。

問 2：Julie の 2 回目のメッセージに対する返信を選ぶ設問は、いわば「表現力」を問う問題だと言える。USB が見つかって喜んでいる Julie に対してかける言葉を考える。

第 1 問 B

【テキストタイプ】 ウェブサイト（案内）
【語数】 242 words 【Readability】 5.4

梗概：バンドのファンクラブの入会案内についてのウェブサイト。

◆問われる知識・技能◆

この文章はファンクラブのシステムの説明が目的である。設問に目を通して「スキニング」を用いて、ファンクラブのシステムについて理解できるように読むとよい。

問 1：設問の A New Member's Pack を手掛かりに本文をスキニングする。そうすると、本文の第 1 段落 5 文目の The New Member's Pack will arrive a week or so ...が選択肢④ takes about seven days to arrive と一致するスキニングポイントだとわかる。

問 2：設問の What will you get ...が、本文の表にある What you get (♪)と一致していることに気づけば、その表を重点的に見ればよいとわかる。さらに Pacer という種類の会員についてのことなので、その列にある「♪」のマークを見ていく。

問 3：設問の After being a fan club member for one year, ...をヒントに、本文をスキニングして、At the end of your 1st year, you can either renew or upgrade at a 50% discount.が答えのポイントだとわかる。この内容と一致するのは選択肢③ renew your membership at half price である。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> keep up with ... 「…についていく」 take part in ... 「…に参加する」 = join contain
「…を含む」 be delivered to ... 「…に届けられる」 receive a discount on ... 「…の値引き
を受ける」 renew 「更新する」 Whether ..., 「…であろうと」(譲歩の副詞節を導く接続詞)
<設問> require 「…を必要とする」 at half price 「半額で」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問 3 にあるような「パラフレーズ」は共通テストの設問の特徴のひとつである。普段の授業でこれに対応するにはパラフレーズに重点を置いたリテリング活動が有効ではないだろうか。

問 1：A New Member's Pack については本文の第 1 段落 3 文目から 5 文目で主に言及されている。これらの内容をただ理解するのではなく「設問で求められること」と一致させる思考力・判断力が重要である。

問 2：ファンクラブの会員が Pacer, Speeder, Zoomer の 3 種類に分けられており、それぞれで与えられる特典が異なることを読み取ることが要求されている。

問 3：設問文にある After being a fan club member for one year, you can ... が本文の後半部分 At the end of your 1st year, ... のパラフレーズだとわかるとよい。

第 2 問 A

【テキストタイプ】 採点表・コメント
【語数】 216 words 【Readability】 5.1

梗概：バンドコンテストにおける各バンドの評価を示した採点表と審査員のコメントとそのまとめについて。

◆問われる知識・技能◆

本問では、問 1、問 2 は Which ...? で問われる設問なので スキニング能力 を活用できる。

問 1：設問の the judges' final average scores と which band sang the best? の情報から、最初の表の Singing の項目でいちばん点数が高いバンドを選ぶ。

問 2：設問の Which judge gave both positive and critical comments? から、肯定的なコメントと否定的なコメントの両方を述べた審査員を選ぶ。Mountain Pear have great voices, but they were not exciting ... など A but B (A だけど B) の形で肯定・否定の両方のコメントをしている選択肢② Ms. Leigh が正解。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> competition 「コンテスト、大会」 examine 「…を調べる」 incredible 「驚くべき」
respond to ... 「…に反応する」 shared 「共通の」 evaluation 「評価」 determine 「…を決定する」

<設問> positive 「肯定的な」 critical 「批判的な」 evaluate 「評価する」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問 3、問 4 は「事実 (fact)」と「意見 (opinion)」を見分ける設問、問 5 はバンドコンテストの結果を整理する問題。複合的な思考力・判断力・表現力が求められる。

問 3：「事実 (fact)」を見分ける問題。選択肢② Green Forest need to practice more と④ Silent Hill have a promising future は Ms. Leigh が述べており、③ Mountain Pear can sing very well は Mr. Hobbs が述べているが、これらは「個人的な意見（あるいは評価）」で「事実」ではない。「事実」とはどの人がそれを見ても変わらない客観的な情報なので、選択肢① all the judges praised Green Forest's song が正解だとわかる。

問 4：「意見 (opinion)」を見分ける問題。Mr. Hobbs のコメントに Silent Hill ... really seemed connected with the audience. があり、これは個人的な意見である。

問 5：Judges' shared evaluation から performance is the most important quality ... に全員が同意しているので、Performance の点数がいちばん高い Silent Hill がコンテストの 1 位であることがわかる。次に song originality should be more important ... とあるので、Song originality がいちばん高い Green Forest が 2 位になることがわかる。したがって、選択肢⑤が正解。

第 2 問 B

【テキストタイプ】 オンライン掲示板 【語数】 264 words
【Readability】 7.5

梗概： 校則に関する生徒と教員のオンライン掲示板 (online forum) でのやり取り。

◆問われる知識・技能◆

本問の問 3 はスキミングを活用して解くことができる。

問 3： 設問の the aim of the policy is to save energy をヒントにスキミングをおこなう。そうすると、Ken の投稿の第 2 段落 2 文目に I realise that saving energy is important and from now it will be getting darker earlier. と一致することがわかる。したがって選択肢②が正解。この realise はイギリス英語のスペリング (アメリカ英語では realize)。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> school policy 「校則」 exchange student 「(交換) 留学生」 online forum 「オンライン掲示板」 on behalf of ... 「…を代表して」 head teacher 「(イギリス英語で) 校長」 =principal (米) express concern about ... 「…について懸念を示す」 after-school 「放課後の」 save energy 「エネルギーを節約する」 due to ... 「…が原因で」 crime 「犯罪」
<設問> make + O + 動詞の原形「O に～させる」 immediately 「即座に、すぐに」 reduce 「…を減らす」 state 「…を述べる」 base A on B 「A の根拠を B に置く」 oppose 「…に反対する」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

対立する 2 人のやり取りを、それぞれの根拠とする情報を整理しながら読んでいく力が求められる。

問 1： Ken thinks the new policy ... とあるので Ken の投稿を読むと、「放課後の活動スケジュールの変更に懸案がある→生徒はこれまでどおり午後 6 時まで学校にいたいと言っている」という流れから、「放課後の活動時間が減る」と Ken は考えているとわかる。Ken の投稿の内容を総合的に把握する必要がある。

問 2： 「事実 (fact)」を見分ける問題。Ken の投稿の第 2 段落 5 文目の A number of students have told me that they want to stay at school until 6:00 p.m. as they have always done. は実際に起きた出来事なので、客観的な事実である。

問 4： 「事実 (fact)」を見分ける問題。Dr. Berger の投稿の第 2 段落 3 文目の The report showed that ... 以降は report の内容を表すので、客観的な事実である。

問 5： 市の犯罪率の高さを根拠に下校を早くしようとしている Dr. Berger の投稿に反論するためには、選択肢① The crime rate and its relation to the local area の情報を知る必要がある。本文に直接書かれていることではなく、読み取れる情報から考えられることを導き出す思考力・判断力の必要な設問だといえる。

梗概：滞在予定のイギリスのホテルについてのウェブサイトの Q&A のコーナーに書かれている内容。

◆問われる知識・技能◆

問1：スキミング的技能を用いて、Alex の回答の以下の大きく分けて 3 つの内容を読み取る。

- ① **【Hollytree をお勧めする理由】**値段も安くサービスもよかったこと。朝食もおいしかったこと。
- ② **【1 回目にホテルを利用したときのアクセス】**地下鉄を使ったこと。乗り換えには 7 分かかること。乗り換えがわかりにくく、5 分余計にかかったこと。最寄り駅からホテルまでバスで 10 分程度であったこと。
- ③ **【2 回目にホテルを利用したときのアクセス】**高速バスを使ったこと。最寄り駅からホテルまでのバスは道路工事のために 3 倍の時間がかかったこと。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> consider ～ing「～することを考える」:ほかにenjoy / finish / mindなどもこの形をとる。

recommend「…を勧める」 inexpensive「費用がそれほどかからない, 安価な」 underground

「(イギリス英語で) 地下鉄」= subway (米) every+複数名詞「…ごとに」 transfer to ...

「…に乗り換える」 normally「通常」 a notice saying ...「…と書いてあるお知らせ」 it

takes ... to ～「～するのに…(時間)かかる」 X times as+原級+as ...「…の X 倍～だ」 it

is possible to ～「～するのは可能だ」

<設問> appreciate「感謝する」 get lost「(道に) 迷う」 public transport「公共交通機関」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

本問は、本文の内容を総合的に把握し、正解を求める問題である。文章全体に目を通し、スキミングした内容をまとめて正解を求める力が必要とされる。

問1：Alex の回答の It's inexpensive, and the service is brilliant!が正解の選択肢③ thinks that the hotel is good value for money と一致することがわかる。ただし、ほかの選択肢を誤りだと判断するためにスキミングの力も必要である。

問2：単純な合計時間では Express Bus と City Bus を使うのが最短だが、Alex の回答によれば、City Bus は道路工事のために 2021 年の夏までは 3 倍の時間がかかるということである。したがって、見た目上は City Bus のほうが早い、実際には City Bus は 30 分かかるので徒歩 (20 分) のほうが早い。結果的に、高速バス 40 分と徒歩 20 分の組み合わせである選択肢②が最短で正解になる。

第3問B

【テキストタイプ】 ニュースレター
【Readability】 6.0

【語数】 307 words

梗概： ボランティアを募集するニュースレターについて。

◆問われる知識・技能◆

問1で示すような「スキミング」による要約の作成は普段の授業や自主学習で意識するとよい。また、centreのようなイギリス英語のスペリングが見られ、今後の共通テストでも使用が予想される。

問1：本文の内容を時系列順に並べ替える問題に必要なのは、本文全体に目を通して概要を把握するスキミングの力である。以下のように、段落別に概要を把握する。また、過去完了形の理解が時系列の整理のポイントとなる箇所がある。

- ① 【自己紹介】 ロンドンからの留学生， Sarah（セーラ）の自己紹介。
- ② 【施設の修繕】 Sakura International Centre の修繕のために， 基金を募るボランティアが必要。
- ③ 【現在の状況】 Sarah がセンターに寄付をした。それ以前にキャンペーンリーダーの Katy から町長に資金援助をお願いしたが断られていた。
- ④ 【Sarah の提案】 Sarah がボランティアに参加し始めたのはセンターのイベントに参加した先月だった。建物が限界だということを聞いた Sarah はほかの学生にも手伝ってもらうことを提案した。
- ⑤ 【ボランティア活動への勧誘】 Sarah がほかの学生に対して寄付を募る依頼をする。

問2：第2段落2文目 It provides valuable opportunities for Japanese and foreign residents to get to know each other.が選択肢② offers opportunities to develop friendships と一致する。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> may have+過去分詞「～したことがあるかもしれない」 provide an opportunity for A to ～「A が～する機会を提供する」: for A は to-不定詞の意味上の主語 resident「住民」 get to know each other「お互いに知り合いになる」 raise funds「資金を募る」 maintain「…を維持する」 reject「断る」 mayor「市長」 have no choice but to ～「～せざるをえない」 passer-by「通行人」 be willing to ～「～するのをいとわない」
<設問> make a suggestion to ...「…に提案をする」 financial aid「財政援助」 publish「出版する」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

本文の概要をスキミングでとらえた後に思考力・判断力を用いて、それぞれの設問に答える。

問1：スキミングした内容にもとづいて、時系列に整理する。

問3：勧誘している最後の段落で、Please email me ...とあるので、選択肢② Contact Sarah for further information.が正解。

第4問

【テキストタイプ】Eメールなど
【Readability】6.9

【語数】479 words

梗概:姉妹校から来る生徒のおもてなしをするためのスケジュールを提案するEメール、電車の時刻表、および水族館の混雑度を表すグラフについて。

◆問われる知識・技能◆

2人のEメールのやり取りから、スキニング的技能を用いて、必要な情報を読み取る。

問1: Azuma 駅に到着する電車と Kaede 駅に到着する電車を答える問題。Natsuki の E メールの Will they arrive at Azuma Station at 9:39 a.m. ...? に対して Emma の返信では they'll arrive at the station at 9:20 a.m. と答えている。これをふまえて時刻表を見ると、9:20 に到着する電車は選択肢①109 だとわかる。また、Kaede 駅に到着する電車は、Emma の E メールの our guests can still be back at the hotel by 6:30 p.m. for dinner, as the hotel is only a few minutes' walk from Kaede Station. とあることから 18:22 に Kaede 駅につく選択肢⑤239 が正解だとわかる。

問3: Natsuki の E メール最後に the statue in Azuma Memorial Park next to our school での昼食の提案がある。これに対して、Emma の返信で We can eat under the statue you mentioned. If it rains, let's eat inside. とある。

問4: Natsuki の E メールでは、Azuma 駅についた後、タクシーを使う提案があるが、Emma の E メールで catch the school bus と答えている。このことからタクシーでは移動しない。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> How about ~ing? 「～するのはどうですか。」 exhibition 「展示」 least busy 「最も混雑していない」
souvenir 「お土産」 place emphasis on ... 「…を重視する」 just in case 「万が一に備えて」
cafeteria 「食堂」 make a draft 「下書きを書く」
<設問> be suitable for ... 「…に適している」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

複数の資料から読み取った相互に関連する情報を整理する力、読み取った情報から具体的には書かれていないことを推測する力が求められる。

問2: Natsuki の E メールから訪問する場所は Westside Aquarium と Eastside Botanical Garden だとわかる。水族館の when it is least busy はグラフから 15:00-16:00 だとわかる。つまり、植物園→水族館の順序となる。Emma の返信で We can take the bus to the mall arriving there at 5:00 p.m. とあるので、水族館の次がモールとなる。

問5: Emma の E メールに it would be wise to have a third suggestion just in case. とあり、その直前に schools place emphasis on science education や to improve the scientific knowledge of the students とあることから、科学に関する施設が第3の選択肢として有効だと判断できる。

第5問

【テキストタイプ】 ニュース（物語） 【語数】 658 words
【Readability】 6.3

梗概：馬とともに育てられた牛の Aston は馬が習得する芸を覚え、自ら改善することができる。この珍しい牛の情報は広く知られるようになっていく。

◆問われる知識・技能◆

プレゼンテーション用のスライドを完成させる問題である。本文の内容をスキミングしながら情報を読み取る。

問1：「Sabine は Aston と名付けられた仔牛の世話をすることになる。→Aston はポニーの Leon とともに生活するうちに、馬のような行動をするようになる」。この展開から、選択肢③ Meet Aston, the Bull who Behaves Like a Horse が正解だとわかる。

問3：第1段落冒頭の Five years ago, Mrs. Sabine Rouas lost her horse.→第2段落冒頭... Sabine started work.→第2段落9文目 Sabine then started taking 309 for walks to town.→第3段落8文目 it took him just 18 months to learn how to leapの順序で展開する。選択肢②は使わない。

問4：第3段落11文目 He also noticed his faults and corrected them without any help from Sabine. から選択肢① correct his mistakes by himself が正解。faults が mistakes にパラフレーズされている。また、第3段落8文目 it took him just 18 months to learn how to leap over one-meter-high horse jumps with Sabine on his back. より、選択肢③ jump with a rider on his back が正解。

問5：第6段落冒頭 with a growing number of online followers から選択肢① has an increasing number of fans が正解だとわかる。followers が fans にパラフレーズされている。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> oral 「口頭の」 die of ... 「…が原因で死ぬ」 nearby 「近所の」 look after ... 「…の世話をする」 pregnant 「妊娠している」 the baby bull, which he called Three-oh-nine 「赤ちゃんの雄牛、彼がスリーオーナインと呼んでいたのだが…」：関係代名詞非制限用法
routine 「日課」 pick up 「…を覚える、身につける」 despite ... 「…にもかかわらず」
<設問> appropriate 「適切な」 an increasing number of ... 「ますます増え続ける…」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

プレゼンテーション用の スライドの作成を想定した問題 である。普段の授業からプレゼンテーションの機会があるとよいだろう。

問2：ストーリーのメインキャラクターとサブキャラクターを分類する問題。309 と Aston は同一のものを指すので、両方が含まれている選択肢①と②はすぐに除外できる。ストーリー展開の中心にいたのが、Sabine といっしょに生活する Aston や Leon (the pony) で、このストーリー展開のきっかけを作るのが Aston's mother と the farmer なので選択肢④が正解だとわかる。

梗概：アイスホッケーはリンクの上をすばやく動き回りながらパックを打ち合う競技である。選手は防具などをつけているが、脳震とうにつながる確率は依然として高いままである。近年そのリスクへの認知が高まり、その防止策がさまざまな形でとられてきている。アイスホッケーの安全性を高めることは競技人口とファンの増加につながる。

◆問われる知識・技能◆

ポスターの構成を把握したのち、それぞれの項目をヒントに本文から解答を探す。

問 1：脳震とうの Effects のうち、Short-term のものを探す。第 3 段落 2 文目 for a short time ... be unable to walk straight or see clearly ... がポイント。unable to see clearly がパラフレーズされている。

問 2：脳震とうの Effects のうち、Long-term のものを探す。第 4 段落 4 文目 serious effects that last a lifetime は Long-term effect のパラフレーズである。後に続く文の People with a history of concussion may have trouble concentrating or sleeping. が選択肢③の Sleep disorders と一致する。

問 3：Solutions のうち、concussion spotters に関するものを探す。第 6 段落冒頭に a concussion spotters system が出てくる。後に続く for visible indications of concussion during each game. とあり、visible indications of concussion が選択肢④の signs of a concussion にパラフレーズされている。

問 4：第 5 段落冒頭に NHL ... has been making stricter rules and guidelines to deal with concussions. とあり、正解の選択肢②と一致する。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> engage in ... 「…に携わる」 make it easy for A to ~ 「A が～するのが容易になる」
fall down 「倒れる」 bump into each other 「お互いにぶつかる」 concussion 「脳震とう」
temporary 「一時的な」 ring in one's ears 「耳鳴りがする」 in spite of ... 「…にもかかわらず」
effects that last a lifetime 「一生続く影響」：関係代名詞主格 have trouble ~ing 「～しにくい、～するのに苦労する」
disorder 「障害・不調」 consisting of ..., 「…で成り立っているが、」：分詞構文の挿入
strict 「厳しい」 optional 「任意の」 deliberately 「意図的に」
watch for ... 「…を監視する」 visible 「目に見える」 indication of ... 「…の徴候」

<設問> eyesight 「視力」 implement 「…を実行する」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

第 6 問 A はすべてスキニングで対応できる問題であったが、問 4 は要約問題である。日頃から本文の要旨をつかみ、要約文を書く活動や視覚資料に整理する活動などを積極的におこなっておきたい。

梗概：低カロリーながら強い甘みを持つさまざまな人工甘味料が開発されてきた。一方でそれらは健康問題を引き起こす可能性がある。各々の必要性や状況に応じて、甘味料を比較して選ぶことが重要である。

◆問われる知識・技能◆

人工甘味料についての知識を持っていれば読解の助けになる。さまざまな話題の文章を日頃から読んでおきたい。この英文は内容と語彙がやや専門的なので、流し読みや飛ばし読みでは全体像を把握するのは難しい。速く読むことは重要であるが、日常の学習ではその精度を意識することも必要である。

問 1：設問文の modern science has changed the world of sweeteners をヒントに本文を探す。第 1 段落最終文... scientists have developed a wide variety of artificial sweeteners. とある。

問 3：それぞれの選択肢について、本文から該当箇所を探して正誤を検証する。正解の選択肢③ alternative sweeteners from plants をヒントに本文を探す。第 3 段落最終文に... stevia comes from plant leaves. とある。正解の選択肢⑤から xylitol と sorbitol について書かれた箇所を探す。第 5 段落最終文に... these move through the body extremely slowly, ... とある。

■学習させたい語彙・文法・表現

<本文> nutrition 「栄養学」 sweetener 「甘味料」 sugar cane 「さとうきび」 sugar beet 「テンサイ」
extract A from B 「A を B から抽出する」 abundant 「豊富な」 process 「…を加工する」
artificial 「人工の」 intake 「摂取」 be derived from ... 「…に由来する」
whole food 「自然食品」 have negative effects on ... 「…に悪影響を与える」 excessive 「過度の」
substitute 「代用品」 intense 「激しい」 substance 「物質」 consume 「消費する」
relatively 「相対的に」 alternative 「代替りの」 whether to ~ 「…するかどうか」
stick to ... 「…に固執する」 variety 「種類」 weigh the options 「選択肢を慎重に検討する」
circumstance 「状況」

<設問> summarize 「要約する」 focus on ... 「…に集中する」

◆問われる思考力・判断力・表現力◆

問 2：第 1 段落 7 文目の... (HFCS) is about 1.2 times sweeter than regular sugar, ... の内容、および第 4 段落 2 文目 Aspartame and Ace-K are 200 times sweeter than sugar. Stevia is 300 times sweeter, and sucralose has twice the sweetness of stevia. の内容からそれぞれの甘味料の甘さを整理して順序付けする。

問 4：筆者の考えを端的に表すものを選ぶ、一種の要約問題である。第 6 段落最終文に注目する。

5 最後に

◆英文をすばやく理解するために必要な2つの柱◆

■日常の単語学習を大切にしよう！

共通テストでは、5,000語以上の英文を前にして、限られた時間内にすばやく、正確に英文の概要を把握したり、必要な情報を読み取ったりすることが求められます。しかも、設問の選択肢は多くの場合、パラフレーズされています。たとえば、第6問Aの serious effects that last a lifetime が Long-term となっていたり、indications of concussion が signs of a concussion となっていたりしました。このようなパラフレーズされた表現を的確に把握していくためには、「同義語」や「反義語」を意識しながら、CEFR-J レベルで言えば B1 から B2 レベルの英単語まで学習するのがよいでしょう。

また、語彙や表現は コンテキスト（文脈）と共に覚えていくことが大切です。そうすることで、その語句のイメージが浮かぶようになります。その意味では今回の共通テストも語句を学習するためのよい教材になります。次の例を見てみましょう。

第3問B Volunteer Wanted!より

She told me that they had asked ① the town mayor for ② financial assistance, but their ③ request had been ④ rejected. They ⑤ had no choice but to start ⑥ fund-raising.

「彼女は、①町長に②資金援助をお願いしたが、彼女たちの③要求は④却下されたと言いました。⑤仕方なく⑥募金活動を始めることにしました。」

コンテキストがあれば単語の文脈や背景を想像して覚えることができます。短時間で大量の英文を処理する必要がある共通テストこそ、普段の学習では単語や熟語に時間をかけて向き合っているとよいでしょう。

■リテリングでパラフレーズの力を鍛えよう！

リテリングとはリーディングやリスニングを通してインプットした情報を、補助的なメモなどを参照しながら、自分以外のだれかに伝える活動です。大まかな手順は以下の通りです。

内容理解 ⇒ 音読による内在化 ⇒ 発話情報の選定 ⇒ 英語への変換 ⇒ 発表

リテリングはまず「内容理解」をおこないます。これは本文の情報が持つ「要点」と「細部情報」の両面からおこないます。順序としては「要点」⇒「細部情報」とすることで、リテリング活動につながりやすくなります。内容理解の方法は、生徒に本文に関する質問を投げかけることでおこないます。このとき、与えた質問の答えをつなぎ合わせるとリテリングの形になるようにします。

また、共通テストのような大量の英文を短時間で処理できるようになるためには、「音読による内在化」が大切です。音読による内在化とは、内容理解が完了した英文を「語彙」「文法規則」を定着させる目的でおこないます。Read & Look up などさまざまな方法で音読をおこなうとよいでしょう。

「発話情報の選定」は、生徒個人に要点をまとめさせることもできますが、グループ活動にも適しているといえます。クラスの中で発表したりすることで、自分では気が付かなかったポイントに気付くこともあるでしょうし、「英文を読む」ときに、何が書かれているかを意識することにつながります。

「英語への変換」は、本文中の語句の言い換えが主なタスクです。言い換えの例から学んだり、英英辞典を使う足掛かりとしたり、さまざまな形が考えられます。また、パラフレーズさせたい語句を穴埋め問題にするのも有効でしょう。さらに高度なリテリングでは、「自分の意見の追加」や「本文の続きを書く」などがあります。このような活動は自由英作文などの力の向上につながるでしょう。

リテリング活動をおこなうことで英語の4技能をバランスよく刺激しながら、今回の共通テストのようなタイプの試験にも対応していくことができるのではないのでしょうか。

(令和3年2月10日)

本分析資料のほか、他教科・他科目の分析資料(PDF)もダウンロードできます。



第一学習社

広島本社

733-8521 広島市西区横川新町 7-14

TEL 082-234-6800